

PRSオプション



3線圧接式コネクタ

形式	質量	標準価格(税抜)
PRS-3CN-2224	約19g	2,120円(10入)
PRS-3CN-2628	約19g	2,120円(10入)
PRS-3CN-2224N	約17g	1,870円(10入)
PRS-3CN-2628N	約17g	1,870円(10入)



【一般仕様】

	性能	試験条件
定格絶縁電圧	AC DC250V	
定格通電電流	AWG #22, 24 3A, AWG #26 2A, AWG #28 1A	
耐電圧	AC1000V 1分間	検出電流1mAにて
絶縁抵抗	100MΩ以上	DC500Vメガにて
接触抵抗	20mΩ以下	
単体抜去力	0.343N{35gf}以上	0.64±0.01mmのテストゲージにて
総合挿入力	2.94N{300gf}×芯数以下	
挿抜寿命	50回以上	
周囲温度	-15℃～+60℃(氷結又は結露しないこと)	
耐振性	全振幅1.52mm、周波数10～55Hz(3軸)	100mAを通電し、1μs以上の電気遮断がないこと
耐衝撃性	490m/2s(50G)(3軸)	100mAを通電し、1μs以上の電気遮断がないこと

PRS-3CN-2224部品構成 AWG#22～24用

No.	称号	材質	数
1	コンタクトハウジング	強化PBTグレー	1
2	圧接用ハウジング	ウルテム	3
3	コンタクトAWG #22～24	銅合金	3

PRS-3CN-2628部品構成 AWG#26～28用

No.	称号	材質	数
1	コンタクトハウジング	強化PBT黒	1
2	圧接用ハウジング	ウルテム	3
3	コンタクトAWG #26～28	銅合金	3

PRS-3CN-2224N部品構成 AWG#22～24用

No.	称号	材質	数
1	コンタクトハウジング	強化PBT黒	1
2	圧接用ハウジング	PC緑	1
3	コンタクトAWG #22～24	銅合金	3

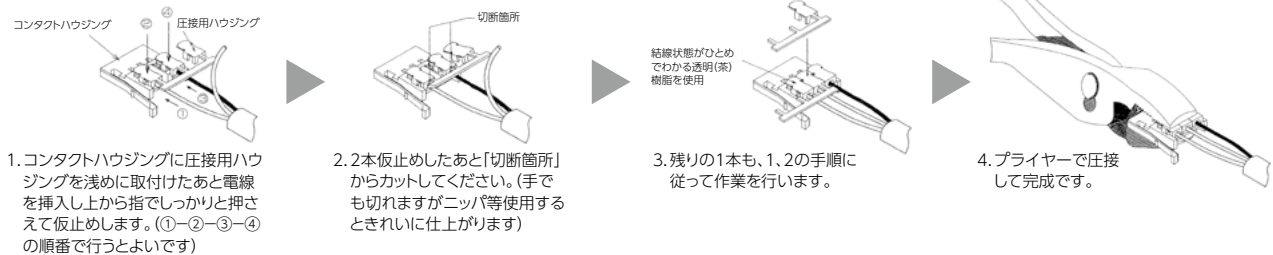
PRS-3CN-2628N部品構成 AWG#26～28用

No.	称号	材質	数
1	コンタクトハウジング	強化PBT黒	1
2	圧接用ハウジング	PCスモーク	1
3	コンタクトAWG #26～28	銅合金	3

適合電線

電線サイズ	公称断面積	被覆外径	定格通電電流	備考
AWG #22	0.3mm ²	φ1.5～φ1.1	*3A	12本 / 0.18
AWG #24	0.2mm ²		*3A	
AWG #26	0.14mm ²	φ1.3～φ1.1	*2A	
AWG #28	0.08mm ²		*1A	

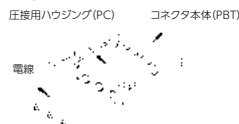
圧接工程 (PRS-3CN-2224 / PRS-3CN-2628)



※コンタクトは、あらかじめコンタクトハウジングに組み込まれておきますので、あらためて装着する必要はありません。

圧接工程 (PRS-3CN-2224N / PRS-3CN-2628N)

※PRS-3CN-2224N及びPRS-3CN-2628Nは、圧接用ハウジングが一体型となっている為、2～3の工程は不要です。



●作業上の注意事項

電線が「突き当て」まで挿入されたのをご確認のうえ仮止めを行ってください。



3線圧接コネクタ

RoHS
Compliant

PRS-3CN-2224N カラー:グリーン(AWG#22~24用)

PRS-3CN-2628N カラー:スモーク(AWG#26~28用)

PRS-3CN-0101 蓋用コネクタ



PRS-3CN-2224N
標準価格(税抜) 1,870円(10入)



PRS-3CN-2628N
標準価格(税抜) 1,870円(10入)



PRS-3CN-0101
標準価格(税抜) 960円(10入)

【仕様】

注文形式	PRS-3CN-2224N	PRS-3CN-2628N	PRS-3CN0101	
梱包数(1袋)	10	10	10	
適合電線サイズ	AWG#22~24	AWG#26~28		
被覆外径(mm)	φ1.5~1.1	φ1.3~1.1		
接触抵抗	20mΩ以下			
材質	コンタクトハウジング	強化PBT樹脂(ブラック)		強化PBT樹脂(ブラック)
	圧接用ハウジング	PC樹脂(グリーン)	PC樹脂(スモーク)	
	コンタクトピン	銅合金	接触部 Ni下地Auメッキ(0.2μm) 圧接部 Ni下地Snメッキ	

外部機器側のコネクタ(圧接タイプ)は別売品となります。

圧接工程 (PRS-3CN-2224N/PRS-3CN-2628N)

圧接用ハウジング(PC) コネクタ本体(PBT)



●作業上の注意事項

電線が「突き当て」まで挿入されたのをご確認のうえ仮止めを行ってください。



【注意事項】

- (1) ケーブル挿入前に圧接用ハウジングを本体に押し込まないでください。(一度圧接されたプラグは、再利用することができません。)
- (2) ケーブル挿入時、ケーブルが奥まで入ったことを確認してください。(ケーブルが奥まで入っていないと、圧接不良の原因になります。)
- (3) ケーブル挿入時、ケーブル断面が円形でない場合、途中で引っかかり奥まで入れにくい場合があります。(ニッパーなどで切った先端をなるべく丸くしてから挿入してください。)
- (4) ケーブル挿入時、圧接用ハウジング前部よりケーブルが突き出る場合があります。この時はケーブルの先端が圧接用ハウジングの中に入るように引き戻してください。
- (5) 圧接用ハウジングが浮き上がった状態では圧接不十分ですので、しっかりと組み込まれるまで押し込んでください。
- (6) コネクタの圧接状態を確認の上、結線作業を行ってください。機器故障の原因にもなります。